

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

		平成13年度助成金		平成14年度助成金(計画)	
共同助成事業 (P.N. ファンド)	(国内)				
	活動助成	8件	5,740		
	調査研究助成	9件	7,670		
	(海外)				
	調査研究助成	5件	6,870		
	小 計	22件	20,280	※	20,850
自主助成事業	(国内)				
	活動助成	5件	6,100		
	調査研究助成	3件	2,050		
	(海外)				
	調査研究助成	2件	2,000		
	小 計	10件	10,150		12,150
	合 計	32件	30,430	33件	33,000

※ P. N. ファンド13年度繰越分850千円を含む。

2. 平成13年度(2001年)第12期助成金交付一覧

国内調査研究助成				単位:千円
No.	研究テーマ	助成先	代表者	助成額
1	在来マルハナバチ類保護のためのセイヨウオオマルハナバチの野生化状況の評価と駆除方法の開発	セイヨウオオマルハナバチ野生化問題研究グループ	横山 潤 (東北大学大学院)	1,000
2	イリオモテヤマメコノ生息地としての西表島山地部の評価調査	イリオモテヤマメコノ研究グループ	伊澤 雅子 (琉球大学 助教授)	1,020
3	沖縄島北東岸のサンゴ礁性貝類相の現状調査	ウルマ貝類調査グループ	黒住 耐二 (千葉県立中央博物館)	880
4	三峰川水系における帰化植物の生物学的侵入が生態系へ及ぼす影響	信大自然科学研究会	大窪 久美 (信州大学農学部)	800
5	全国での堅果類の豊凶測定によるツキノワグマの出没予報システム構築の研究	日本ツキノワグマ研究所	米田 一彦 (日本ツキノワグマ研究所)	600
6	川辺川流域三世自然ふれあい緊急調査	川辺川流域自然ふれあい調査研究会	簗茂 寿太郎 (東京農業大学 教授)	700
7	外来種カミツキガメの野生化とその対策に関する研究	外来種対策委員会	小林 頼太 (東大農学生命科学研究科)	940
8	世界遺産春日山原始林と天然記念物ニホンジカの保全生態学的研究	春日山原始林研究グループ	前迫 ゆり (奈良佐保短期大学)	730
9	生態的プロセスに着目して地域の生物多様性保全を考慮する森林管理—スギ人工林における生物間相互作用の復元—	人工林生態系研究グループ	紙谷 智彦 (新潟大学農学部)	1,000
※	諫早湾干拓事業が有明海生態系に与えた影響、特に水質・底質の富栄養化についての調査	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿	500
※	川辺川・球磨川におけるアユの生息・生育環境の比較調査	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿	500
※	有明海・諫早湾の底層溶存酸素のモニタリング—研究者と漁民の共同調査による貧酸素水塊発生過程の解明	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿	1,050
小計			12件	9,720

国内活動助成				
No.	研究テーマ	所属機関	代表者	助成額
1	馬毛島の自然と歴史:市民調査の成果を生かした報告書とガイドブックの作成・活用	馬毛島の自然を守る会	長野 広美	1,000
2	佐渡島における陸封型(河川型)ヤマメOncorhynchus masou masou の増殖保護と遺伝子解析調査	NPO・特定非営利活動法人 溪流再生フォーラム	飯塚 友章	840
3	藤岡のヤリタナゴ・マツカサガイの保護のためフォーラム開催とその成果の出版	ヤリタナゴ調査会	斉藤 裕也	800
4	活動する市民によるワークショップと緊急レポート「市民参加と環境教育によるワイルドライフ・リハビリテーション&レストレーション」	ふくしまワイルドライフ市民フォーラム	溝口 俊夫	800
5	小出川の環境保全と子供達への自然環境教育活動	小出川に親しむ会	丹沢 久子	500
6	第14回日本の森と自然を守る全国集会在北海道の開催	第14回日本の森と自然を守る全国集会在北海道実行委員会	寺島 一男	1,000
7	箕面北部開発地の市民参加環境調査と自然保護、地域づくり	箕面市北部の自然と開発を考える府民の会自然保護部会	本多 孝	400
8	小笠原諸島におけるエコツーリズムの確立	小笠原ネイチャーフォーラム	有川 美紀子	400
※	(1)石垣島海域におけるサンゴ礁モニタリング調査 (2)干潟とその集水域および海域保全活動 (3)北方四島における自然保護活動支援	(財)世界自然保護基金	大内 照之	2,500
※	人と自然が共生する持続的な地域社会づくりをめざして～沖縄本島北やんばる地域諫早湾干拓事業の見直しによる諫早湾・有明海の環境回復のための政策提案(『市民による諫早湾干拓「時のアセス」報告書の出版・普及	(財)日本自然保護協会	田畑 貞寿	2,000
※	諫早湾干拓事業の問題点及び解決の方向についての普及啓発	(財)世界自然保護基金	大内 照之	500
※	諫早湾干拓事業の問題点及び解決の方向についての普及啓発	諫早干潟緊急救済東京事務所(WWF Japan)	陣内 隆之 (WWF 菅波 完)	500
※	日高山脈の自然保護パンフレットの刊行	日高山脈シンポジウム実行委員会	高畑 滋	600
小計			13件	11,840

海外調査研究助成				
No.	研究テーマ	所属機関	代表者・[]内推薦者	助成額
1	東アジア遺存植物宝庫としての天目山(中国)における貴重な植物群落の保護生態学的研究	華東師範大学環境科学学部【中国】	逄 良俊(Da, Liangjun) [尾崎 煙雄・千葉県立中央博物館]	1,700
2	中国海南島における稀少動物の分布とその歴史的変遷に関する研究	中国海南師範学院野生動物保護管理研究センター【中国】	李 玉春(Li, Yuchun) [小金澤正昭・宇都宮大学]	980
3	石門台省立自然保護区におけるチョウ類の生物多様性と保全に関する研究(中国)	華南農業大学昆虫生態学教室【中国】	王 敏(Wang Min) [矢田 脩・九州大学]	1,400
4	スマトラ西部州(インドネシア)におけるアゲハチョウ類の生活史と生態	アンダラス(Andalas)大学理学部【インドネシア】	ダヘルミ(Mr. Dahelmi) [中村 浩二・金沢大学]	950
5	インドネシア産哺乳類・鳥類のDNAバンク設立のための継続的努力	インドネシア科学院生物学研究センター動物学部門【インドネシア】	スリ・スランダリ(Dr.S Sulandari) [東 正剛・北大大学院]	1,840
※	ロシア沿海地方、サマルガ川・ピキン川流域の保全	国際環境NGO 地球の友ジャパン	岡崎 時春	1,180
※	サハリン島、ヴェンゲリ川・ブルシュエブルシ川流域の保全	国際環境NGO 地球の友ジャパン	岡崎 時春	820
小計			7件	8,870

助成金総額	合計	32件	30,430
--------------	-----------	------------	---------------

(P. N. ファンド助成金額)	22件	20,280
(直接助成金額)	10件(12件)	10,150

注:(※)当基金の自主助成事業